

令和元年度実績 第5次地域福祉計画 地域保健計画指標の推移について  
 （追加説明）

ページ	分野別	項目	
2	歯と口腔の健康	地域歯周病指数 等	
<p>令和元年度は年度末年齢76歳以上のかたには摂食嚥下の機能評価を含めた歯科健診（後期高齢者歯科健診）を実施した。このため歯周病検査を含めた歯科健診（成人歯科健診）は、これまでの20歳以上から20歳から75歳以下と対象が変更されたことにより、実績値に変化がでている。地域歯周病指数は悪化してしまっただが（45.8%→48.8%）、逆に歯間清掃用具（ブラシやフロス等）の使用（40.0%→54.6%）や歯肉の観察（51.3%→55.9%）など口腔衛生習慣は好転した。</p>			
2	がん予防	がん検診受診率	大腸がん
<p>大腸がん検診の集団検診の応募にあわせ、平成29年度意識調査結果と平成30年度勧奨結果から、受診経験・保険種・国保加入時期・年代の4種類の要素から仮説を立て、勧奨効果の高い層から優先順位をつけて受診勧奨を行った。このことにより受診率が平成30年度8.5%から令和元年度10.1%に向上した。【参考】3か年の受診者数の推移：H29：2,931人、H30：4,743人、R1：5,665人</p>			
3	循環器病の予防・糖尿病	健康教育受講者数	
<p>令和元年度の健康講座は年間21回を予定していたが、令和2年3月に予定していた講座（4開催分）が新型コロナウイルス感染症の影響により中止したため受講者数が減少した（741人→462人）。</p>			
3	循環器疾患	生活習慣病の早期発見・治療	特定健康診査・特定保健指導
<p>令和元年度の特定健康診査受診率は46.8%であり、平成30年度の49.6%と比較すると減少となっている。受診率減少の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響により集団健診が中止となったことが大きな要因の一つであった。また個別健診において、平成30年度は約15,000人にはがき勧奨を、令和元年度は約6,500人にはがき勧奨を約1,300件に電話勧奨を行った。結果としては、平成30年度の受診率の方が高くなったが、コスト面などを勘案し今後の勧奨に活かしていきたい。</p>			
3	循環器疾患	生活習慣病の早期発見・治療	特定健康診査・特定保健指導
<p>特定保健指導利用率【動機付け支援】は平成30年度22.2%から令和元年度15.0%、【積極的支援】は16.9%から7.6%とともに減少している。要因は2点あり、1点目は令和元年2～3月に実施を予定していた特定健診の集団健診が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったことである。2点目も同様に新型コロナウイルス感染症の影響で、2、3月から保健指導ができなくなったことである。</p>			
4	こころの健康		自殺死亡率
<p>【数値の修正】平成30年度（誤）26.5%→（正）18.0% ※昨年度の資料の修正</p> <p>本計画の数値は多摩北部保健医療福祉データを出典元としておりますが、令和元年度の数値に誤りがあったので修正いたします。</p>			